内科（腎臓・透析）

診療内容・専門分野

当院腎臓内科の診療内容は以下の三本の柱をうまく統合させ、継続していくことを目指しています。

1　基礎疾患の徹底的な治療

腎臓病疾患は自覚症状がなく手遅れになることも少なくありません。

学校や職場での検尿異常、血圧の異常について腎生検を含めた精密検査を行い、まずきちんとした診断を行います。それにもとづき近年の腎炎治療の動向を敏感に反映した最先端の治療を行います。

2　腎不全を進行させない

基礎疾患を徹底的に治療した後、腎機能障害の進行をくい止めるためには、血圧の管理(130～140/80mmHg 以下)、貧血の管理、低たんぱく食事療法が重要です。計画された食事、降圧薬、尿毒症物質除去療法との併用で腎不全の進行を可能な限り遅らせることを目指します。

3　安楽な健やかな透析を目指す

血液透析療法は、体重の設定、透析膜の選択など透析条件を適切に設定すれば安楽で、長生きできる治療です。透析の条件を個人差に応じ細かく設定し、楽しく安楽に毎日を過ごしていただくことを目標にします。また、当院では腹膜透析療法も積極的に行っています。自分にあった透析療法を選択することが可能です。

ご紹介いただくにあたって

学校検診、職場検診での尿検査異常、血圧の異常などが腎疾患への手がかりになりますので、再検査で異常を認めた場合にはご紹介いただければ幸いです。また高血圧症、糖尿病患者さんで尿検異常、腎機能異常が認められた場合もお気軽にご相談下さい。

腎生検入院は約4日間、食事療法指導教育入院は約 1 週間、ネフローゼや活動性の高い腎炎は1ヶ月から2ヶ月の入院期間が目安になります。